



【上小田代地区の農用地等面積】 91.4 ha

うち 【田】 58.9 ha 【畠】 31.9 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 68.7 ha)

- ・今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 9.7ha
- ・上小田代地区における75才以上の農業者の農地面積 合計 31.7 ha
- ・主な生産品目：水稻、大豆、トマト、キュウリ

(令和7年8月 26日現在)

地域農業の課題

1. 担い手・後継者の不足

- ─ 農事組合法人の構成員高齢化
- ─ 後継者確保が課題
- ─ 高齢農業者(75才以上)の農地 31.7ha、
後継者不在農地も

2. 農地集積の停滞

- ─ 個人担い手も飽和状態

3. 作物規模拡大の困難

- ─ 高収益作物(野菜・果樹)は労働力不足・
高齢化で規模拡大困難
- ─ 取り組める農業者が限定される

4. 経済的課題

- ─ 農畜産物価格低迷
- ─ 生産費上昇による農業所得低下(再生産
価格に届かない)

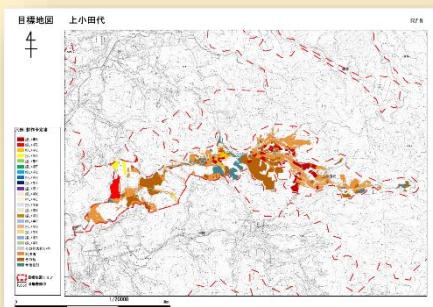
5. 耕作放棄地の増加懸念

- ─ 5年水張り要件による交付金対象外水田
増加
- ─ 耕作放棄地増加が懸念

6. 鳥獣(イノシシ・シカなど)被害

- ─ 放棄地等が被害拡大の原因

上小田代地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事はありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょう。

地域農業の方向性

- 1. 農地集積・集約化の推進
 - 農業経営の基盤強化・生産性向上・持続可能な経営
- 2. デジタル技術・スマート農業導入
 - 労働力不足の解消
 - 生産コスト削減・効率向上
- 3. 持続可能・環境配慮型農業
 - 特別栽培（減農薬・減化学肥料）
 - 循環型農業
- 4. 地域コミュニティ・関係機関との連携強化
 - 農業の共同支援体制づくり
 - 地域全体の農業課題解決と発展
- 5. 基盤整備
 - 区画拡大、暗渠排水等により効率化
 - 遊休農地発生防止
- 6. 多様な経営体の育成・確保
 - 新規就農者支援・若手育成
 - 経営多角化・技術継承
- 7. 烏獣被害対策
 - 緩衝帯設置
 - 電気柵・防護柵設置
- 8. 保全・管理の強化
 - 水田維持による生態系・治水機能強化
 - 日本型直接支払制度等活用

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記 QR コードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地 プラン推進室(Tel0197-34-2371)

